

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月24日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 家族亭

コード番号 9931 URL <http://www.kazokutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 光宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 関口弘一

TEL 06-6227-6030

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日

平成24年8月31日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,651	—	116	—	120	—	3	—
23年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 8百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.54	—
23年12月期第2四半期	—	—

(注)平成23年12月期より連結財務諸表を作成しているため、平成23年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	10,424	3,565	34.2	507.09
23年12月期	10,979	3,591	32.7	510.82

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 3,565百万円 23年12月期 3,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は決算期の変更に伴い、当期は15ヶ月の変則決算になっております。連結業績予想の数値は後述の平成25年3月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成25年3月31日)を参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	7,056,200 株	23年12月期	7,056,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	25,355 株	23年12月期	25,323 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	7,030,872 株	23年12月期2Q	7,030,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成 25 年 3 月期の連結業績予想（平成 24 年 1 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第 4 四 半 期 (累 計)	15,800	—	530	—	550	—	280	—	39.82
通 期	19,500	—	550	—	570	—	290	—	41.25

(注)平成 23 年 12 月期より連結財務諸表を作成しているため、平成 25 年 3 月期第 4 四半期(累計)の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、決算期の変更により、当期は 15 ヶ月の変則決算になっておりますので通期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、公共投資と個人消費の牽引により、緩やかな持ち直しがみられています。

しかしながら、外食産業においては、4月ごろまでは東日本大震災の影響からの回復基調を維持したものの、5月に入り電力料金の値上げ、消費税増税の動きなどにより消費ムードが後退し、震災からの回復基調もひと段落という状況です。売上高は、店舗数増加に伴う利用客数の増加により、前年を若干上回る状況にありますが、客単価が前年を下回る状況が続いております。

当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,651百万円、営業利益116百万円、経常利益120百万円となりました。店舗リニューアルに伴う固定資産廃却損等による特別損失37百万円、法人税等79百万円を計上した結果、四半期純利益は3百万円となりました。

各セグメントの概況は以下の通りです。

① 外食事業

外食事業を営む㈱家族亭の当第2四半期累計期間の業績は、売上高が4,093百万円となりました。また、営業利益は11百万円となり、東日本大震災等の影響を受けた昨年比48百万円改善いたしました。

主な取り組みとして、1月に新業態「田舎つけそば のぶや」を霞が関コモンゲートに出店いたしました。お昼のつけそばに加えて、6月からは夜の「ちょい飲み」に対応したメニューも取り入れ、夜の時間帯の客数増加を図っております。8月には夜間対応のさらなる強化を実施し、新業態「田舎つけそば のぶや」のブラッシュアップに取り組んでまいります。

また、5月には「家族亭創業65周年記念イベント」の第1弾を実施いたしました。お客様への日ごろのご愛顧に感謝し、例えば得得店舗（一部店舗除く）において、平日の14時から18時の中間時間帯に「65円うどん」を提供いたしました。これにより、「65円うどん」の実施店舗の14時から18時の客数前年比が300%を超えたと同時に、「65円うどん」をお召し上がりいただいたお客様の土日の再来店により、実施期間中の合計客数の前年比が120%超、売上高が前年比107%となりました。今後、この「家族亭創業65周年記念イベント」を第4弾まで推進し、来店客数の増加と固定客化を目指します。

海外においては、6月初旬に、当社の海外子会社が、ジャパニーズ スイーツ&スナックショップ「Harajuku Delights」をインド・ニューデリーに初出店し、好調な滑り出しとなっております。そのほかにも家族亭店舗3店（タイ1店、中国2店）のFC出店、また、タイにおいて、しゃぶしゃぶを中心とした日本料理店「かごの屋」の2号店を、当社、㈱キンレイとKPN社による合弁会社が、出店しております。

エイチ・ツー・オー リテイリング グループ各社、中野食品との相乗効果といたしましては、阪急百貨店及び阪神百貨店の友の会会員様向けのイベントやクーポンの発行、阪急百貨店及び阪神百貨店のハウスカードであるペルソナカードの会員様向けクーポンの発行など、百貨店顧客の共有に向けた取り組みを開始いたしました。また、㈱阪急デリカが製造する豆狸いなりやそれを取り入れたメニューを関西の家族亭店舗において2月から販売し、関東の家族亭店舗においても7月から販売を開始しております。そのほかにも、従来うどんとは一味違う、色彩や季節感のある「さくらうどん」（中野食品製造）を取り入れたメニューを関東店舗において提供するなど、グループインフラの活用やメニューの魅力アップによる新規顧客の獲得に取り組んでいます。

調達面においても、第1四半期から実施しておりました、当社、中野食品、エイチ・ツー・オー リテイリング グループ数社による共同入札の取扱い品目の増加に取り組み、相乗効果の最大化に鋭意推進しております。

営業網の整備においては、直営店舗として新規出店4店（FC（フランチャイズチェーン）からの移行を含む）、閉店4店（FC化に伴う閉店を含む）により107店となりました。また、新規FC加盟契約の獲得は9件、FC店舗は新規出店6店（直営店舗からの移行を含む）、閉店3店（直営化に伴う閉店を含む）により103店となりました。海外店舗は出店5店と閉店1店により19店となり、提携店舗は出店1店と閉店1店により5店となりました。

この結果、当第2四半期末の店舗数は、直営店舗107店、FC店舗122店（海外19店含む）、提携店舗5店の合計234店となりました。

② 製造事業

製造事業を営む中野食品㈱の当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,561百万円、営業利益104百万円となりました。

昨年11月に新体制を構築した後、企業の活性化を目的に若手社員を抜擢した組織変更を実施しましたが、その効果が着実に発揮され始めています。中でも、新体制発足以来、継続的に取り組んできました原材料・資材等の見直し、調達方法の変更等によるコストダウン、また、工場生産ラインの労務管理の手法変更によるコストダウンが順調に進み、前年に比べ営業利益が大幅に改善いたしました。

そのほかに、生産管理能力強化のためのシステム構築、将来の売上拡大のための営業力強化についても推進しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は10,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ555百万円減少しました。これは主に、運転資金の使用や借入金返済などに伴い現金及び預金が322百万円減少したことによるものです。

負債合計は6,859百万円となり、前連結会計年度末から528百万円減少しました。これは主に、仕入減少に伴い買掛金が172百万円減少し、また、長期借入金が返済により368百万円減少したことによるものです。

また、純資産は3,565百万円と前連結会計年度末から26百万円減少しました。これは主に、配当金の支払35百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月27日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,051,145	729,086
受取手形及び売掛金	1,555,477	1,555,386
商品及び製品	21,684	49,100
原材料及び貯蔵品	312,150	213,581
繰延税金資産	65,549	53,048
未収入金	133,500	133,270
その他	152,381	137,859
貸倒引当金	△3,377	△2,927
流動資産合計	3,288,513	2,868,405
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,837,475	2,801,811
機械装置及び運搬具（純額）	506,477	467,612
工具、器具及び備品（純額）	94,405	88,179
土地	1,586,354	1,586,354
リース資産（純額）	82,076	73,071
その他	—	2,334
有形固定資産合計	5,106,789	5,019,363
無形固定資産		
のれん	112,128	100,528
リース資産	11,470	9,647
その他	55,590	50,376
無形固定資産合計	179,189	160,552
投資その他の資産		
投資有価証券	89,862	98,636
関係会社出資金	48,762	73,044
長期貸付金	41,922	46,770
繰延税金資産	77,431	85,766
敷金及び保証金	2,093,119	2,021,987
その他	114,584	120,050
貸倒引当金	△60,455	△69,985
投資その他の資産合計	2,405,226	2,376,270
固定資産合計	7,691,205	7,556,186
資産合計	10,979,718	10,424,591

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,370,919	1,198,177
短期借入金	419,025	445,961
1年内返済予定の長期借入金	805,560	739,580
1年内償還予定の社債	35,840	35,840
リース債務	23,420	22,406
賞与引当金	11,907	71,289
未払金	742,002	700,406
未払費用	186,634	180,645
未払法人税等	2,038	72,337
預り金	157,477	149,973
その他	96,105	61,307
流動負債合計	3,850,932	3,677,926
固定負債		
社債	52,880	34,960
長期借入金	2,921,070	2,552,082
リース債務	74,985	63,782
再評価に係る繰延税金負債	59,514	59,514
退職給付引当金	169,322	184,987
役員退職慰労引当金	38,859	41,782
長期預り保証金	135,724	146,671
資産除去債務	68,732	81,495
その他	16,211	16,121
固定負債合計	3,537,300	3,181,396
負債合計	7,388,232	6,859,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,784	1,465,784
資本剰余金	1,425,506	1,425,506
利益剰余金	1,187,072	1,155,729
自己株式	△13,932	△13,954
株主資本合計	4,064,430	4,033,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,674	2,585
土地再評価差額金	△466,371	△466,371
為替換算調整勘定	△4,899	△4,010
その他の包括利益累計額合計	△472,945	△467,796
純資産合計	3,591,485	3,565,268
負債純資産合計	10,979,718	10,424,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,651,190
売上原価	6,298,604
売上総利益	1,352,586
販売費及び一般管理費	1,236,235
営業利益	116,350
営業外収益	
受取利息	1,342
受取配当金	1,524
不動産賃貸料	53,297
その他	10,061
営業外収益合計	66,225
営業外費用	
支払利息	25,223
不動産賃貸費用	22,693
貸倒引当金繰入額	1,655
持分法による投資損失	4,748
その他	7,543
営業外費用合計	61,863
経常利益	120,712
特別損失	
固定資産廃棄損	19,100
その他	18,307
特別損失合計	37,407
税金等調整前四半期純利益	83,304
法人税、住民税及び事業税	77,836
法人税等調整額	1,658
法人税等合計	79,495
少数株主損益調整前四半期純利益	3,809
四半期純利益	3,809

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第2四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,809
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	4,259
為替換算調整勘定	888
その他の包括利益合計	5,148
四半期包括利益	8,958
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	8,958
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	外食事業	製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,092,940	3,558,250	7,651,190	—	7,651,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	450	3,044	3,494	△3,494	—
計	4,093,390	3,561,294	7,654,684	△3,494	7,651,190
セグメント利益	11,926	104,424	116,350	—	116,350

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません